

北茨城民報

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市政報告

ご相談は
お気軽に

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

木皿保育所の廃止を検討 保護者からは疑問、とまどい

第 回説明会

12月19日、木皿保育所で保護者説明会がおこなわれ、建物の老朽化や今後の子育て新制度などを理由に、2014年度末廃止の検討が提示されました。

同保育所は、大震災の後

の耐震診断で耐久性に問題

があるとされました。市で

は、建て替えや移転、関本

保育所との統合などの対応

策を検討したものの、どれ

も困難であるとの結論。さ

らに、2015年度に本格

が説明されました。

保護者からは、「転園は希

望どおり通るのか」「耐震診

断で安全性に問題があると

わかった時点でなぜ説明を

しても遅くなったのか」「い

ま通所している子どもたち

がこのまま卒所したいとの

願いは聞いていただけない

のか」など、不安や疑問が

出されました。

担当課では、「まず最初の

話し合いなので、今後要望

などを聞き取っていきたく

としています。

市立保育所・幼稚園の統

廃合は、10年前(2003

年)に市の行財政改革の項

目としてありました。日

本共産党市議団は、乳幼児

の保育・教育は、経済効率

で図ることなく行政の責任

を明確にし、施設の統廃合

については父母、関係者の

意見と合意を尊重するよう

にと要望してきました。

市立の中郷・華川の2つ



市民の手づくり

「雨情の里 音楽祭 2013」(12/15、市民ふれあいセンター)

の幼稚園はすでに廃園となつています。保育所についても統廃合や民営化などが議論されましたが、現在まで木皿・関本の2ヶ所とも存続されてきました。

木皿保育所での説明会を傍聴した鈴木やす子議員は、「行政内部では検討をつくし

行政改革で、年度ごと行政機構が見直されてい

ます。来年春には、とくに市役所の1階部分が大きく

変わりそうです。水道部が2階に移り、そのスペース

に高齢福祉課と保健センターの移設、市民まちづくり協

働課の併設などが予定され、本庁舎左側部分に福祉・保

健部門を集中させるとして

います。

災害公営復興住宅は、来年3月入居をめざし、市内

3ヶ所110戸分の建設がすすんでいます。秋の受付

たと言われても、その途中経過を知らされていない保護者としては、唐突で納得できない、というのは当然のこと。少なくともこれまでの検討した内容などについてもっと詳しい資料や説明があつてしかるべき」と述べています。

茨城県が発行したパンフレット(表紙)

ブラック企業という言葉が広がり、違法な働き方

が社会問題になってい

ます。日本共産党の鈴木やす子議員は、所属する産業建設委

員会で、いま働いている人

たち、特に若者のなかで、労働基準法についての理解

内業者にも改めて配布したいと答えました。

さらに、地元高校ではハローワークの出張授業の機

会があるので、そのさいに「労基法」についての学習を

併せておこなっていただくよう要請する姿勢も示

しました。

「市が活用すると答えたパ

ンフレットは、わが党の山

中たい子県議(当時)が提案し、実現され

たもの。ブラック企業をなくし、ひどい働き方を改善させるために、自治体としてやれること

がある。パンフもさらに改善していければ」と鈴木議員は語っています。